

## 2006年度 日本液晶学会第3回理事会議事録

日時：2006年7月29日（土）午後1時00分～5時30分

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス 南8号館811会議室

出席：竹添秀男（会長）、赤木和夫（副会長）、赤羽正志（副会長）、  
内藤裕義（総務）、氏家誠司（総務）、平岡一幸（財務）、坂本謙二（財務）、  
山本潤（編集）、米谷慎（編集）、高橋泰樹（行事）、能勢敏明（行事）、  
伊達宗和（情報）、渡辺良一（会員）、竹内清文（研究会）、青木良夫（研究会）  
井上恭子（事務局：PAC）  
欠席：森武洋（情報）、西川道則（会員）

### 議案

#### 1) 承認事項

##### 1-1 会員入退会の承認

・2006年4月～2006年6月の入退会者数が会員委員会より報告され、承認された。

#### 2) 報告事項

##### 2-1 総務委員会（内藤理事、資料06-07-1）

（メール審議リスト）－承認済項目の報告

- ・第1回理事会議事録案
- ・第2回理事会議事録案
- ・協賛依頼対応－社団法人日本オプトメカトロニクス協会（前例無、経済的負担無）
- ・役員推薦委員会の設置

（2006協賛事業リスト）－液晶学会HPに掲載

（2007年度 液晶討論会・講演会開催予定地）

- ・開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス
- ・開催期日：2007年9月10日－講演会 11・12日－討論会
- ・実行委員長 東京工業大学 石川先生

10周年記念として特別講師を招待予定（近くに開催予定の学会とかねた講演者を考慮する）

（役員推薦委員会からの現状報告）－内諾を頂いた方

会長 赤羽正志（長岡技術科学大学）

副会長 内田龍男（東北大学）、 \_\_\_\_\_ 未 \_\_\_\_\_

総務 氏家誠司（大分大学）、 守屋慶一（岐阜大学）

財務 坂本謙二（（独）物質・材料研究機構）、 \_\_\_\_\_ 未 \_\_\_\_\_

編集 米谷 慎（（独）科学技術振興機構）、 多辺由佳（早稲田大学）

行事 能勢敏明（秋田県立大学）、 石川 謙（東工大）（07年度討論会）

情報 森武 洋（防衛大学校）、 宇戸禎仁（大阪工業大学）

会員 西川通則（JSR（株））、 渡辺良一（東芝松下ディスプレイテクノロジー（株））

研究会 青木良夫（埼玉大学）、 鈴木成嘉（メルク）

監事 竹内安正（（株）国際基盤材料研究所）、 森 章（九州大学）

内藤先生より、副会長候補：近藤克己氏（日立）、財務理事候補：香田智則氏（山形大学）に次期役員の申込をお願いする→役員選挙準備のため8月4日までに内諾が必要

（総会準備作業とスケジュール）

8月10日 総会用委任状、次期役員投票用紙発送（事務局）

25日 委任状、投票用紙締切

28日 開票作業（総務理事：内藤先生と他1名立会い：PAC神戸本社にて）

※他1名の立会承認者は、内藤先生にて依頼する。

- 9月 1日 総会・学会賞授賞式用資料原稿締切→各担当理事
- 13日 2006年度評議会
- 14日 2006年度総会
- 15日 第4回理事会←次期役員との顔合わせ

- ・評議会進行内容確認
- ・総会進行内容確認→2005年監査報告が必要（監事：森先生へ財務理事：平岡先生より出席の確認）
- ・各会場調整（秋田大学：山口先生と）、総会資料、学会賞授賞式（賞状、メダル作成）等は、事務局にて準備する。

## 2-2 財務委員会（平岡理事，資料 06-07-2）

（2006年度財務中間報告）

- ・資料に基づき、2006年度中間報告（6月末）一般会計収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計財産に関して報告された。

（2007年度一般会計収支予算書）

- ・2007年度の予算書は、2005年の実績を基に算出している。2006年の予算書は、学会事務センターの破綻問題があり、吟味が手薄だったため。
- ・10周年記念出版事業費は、最初からマイナスで進めてよいのか（by 編集委員：山本先生より）  
毎年の学会全体活動の黒字を記念事業への費用と解釈する。（特に昨年の黒字を記念事業にあてると解釈）  
総会にて承認が得られるか問題となる。

方法1：決算報告 予算は収支0 実際は赤字で報告

方法2：決算報告 予算も赤字 実際も赤字で報告

（学会誌「液晶」広告掲載のお願い）

- ・広告掲載申込概要を参照の上、広告掲載企業の獲得の協力を理事全員にお願いした。

## 2-3 編集委員会（山本理事，資料 06-07-3）

（10周年記念出版事業）

- ・丸善—学会買い取分が必要。

学会買い取分を売れば学会の収入になるが、いくら売れるか不明。買い取は保管場所も問題。

- ・朝倉書店—1割2割他の出版者より高い＝見積金額＝12、000円／冊

既に学会誌に掲載されている論文なので、高い金額では売れない。

- ・シグマ出版—買取もなく、学会負担金もないので、現在ではベストな出版社。

シグマの見積＝150万

知名度は丸善だが、条件を考えるとシグマ出版。記念集は一度掲載済の論文なので、会員へのサービスを考慮し、価格の安さが第一優先で、シグマ出版で検討する。

（丸善の見積も総会までに確認する→編集理事：山本先生）

- ・10周年記念出版事業 支出 準備金（交通費等） 10万円UPしておく  
収入 少し上乗せして、支出と合わせる。

- ・2007年6月までに原稿締切 9月発行予定

原稿掲載の許可をとる、マイナーチェンジは可能

（学会10周年記念事業）

- ・7月号を10周年記念特集号として企画する。

→7月号を遅らせて発行して、9月の総会に合わせるか検討する。

（転写許可願）

- ・丸写しはNG。

- ・基本は編集委員長が判断、特別なのは、会長等に相談  
(その他)
- ・フォーラムで学会誌を売る。販売価格＝2000円  
学会誌の宣伝をこめて安価でもよいことに決定。

#### 2-4 情報委員会 (伊達理事, 資料 06-01-4)

(NII での学会誌「液晶」の Web 公開－電子版液晶の有料公開の是非)

- ・利点：バックナンバーの欠番の情報が得られる  
バックナンバーを買わずに、興味のある1つの論文の情報が得られる。
- ・情報公開と学会誌本体の金額のバランス→液晶学会自体のポリシーがない。  
バックナンバーの財政収入(＝年間100万円)にどう影響が出るか不明。
- ・10周年記念出版事業の出版社との利益が反する。著作権の問題→要確認。  
※別の見方をすれば、記事のダウンロードは出版本の宣伝になると出版社を説得する。
- ・1回あたりのダウンロードの料金－項目ごとの価格表→情報理事：伊達先生にて次理事会までに作成  
(デジタルデータの蓄積)
- ・学会誌(10年分)のデータのデジタル化→予算：50万を10周年記念行事に入れる。

#### 2-5 行事委員会 (能勢／高橋理事, 資料 06-07-5)

(2006年液晶講演会・討論会の準備報告)

- ・参加登録(7月28日現在)                      講演会 64件      討論会 245件

※その他、準備は問題なく遂行している。

#### 2-6 会員委員会 (西川理事, 資料 06-07-6)

(賛助会員の増進)

- ・各フォーラムとサマースクールの参加者リストを渡辺先生へ送付→渡辺先生より参加が多い企業を分析する。
- ・各行事は終了報告時に会計報告と参加者リストを事務局(PAC)へ提出

#### 2-7 研究委員会 (竹内／青木理事, 資料 06-07-7)

(各フォーラムの活動状況と予定)

(液晶フォーラム合同講演会開催の提案)

(主査会議開催の検討)

- ・全フォーラムによる合同講演会は、開催規模が大きくなりにより、内容も充実した取り組みが期待できる。  
また、この企画は黒字が期待できることから、年間をまとめたフォーラム講演会の収支にも改善策となる。  
予算化(シーズマネー)されていないけれど液晶フォーラム合同講演会の開催を求め、承認された。
- ・新旧主査の交流により次年度の取り組みを活性化できるので、第4回主査会会議を上記企画に合わせて開催する。

(2006年度サマースクール報告)

- ・賛助会員(会社と口数)の確認→会員価格の参加可能人数が不明確であった。  
→事前に事務局よりデータを確認。
- ・会費入金が遅れる会社が多く、青木先生が個人的に50万円近くを立て替えた→来年から50万の準備金を用意する(理事会にて承認)

(2007年度サマースクール予定案)

- ・校長の予定候補者：校長は理事から選ばなくてもよい。  
第1候補：船橋先生                      第2候補：廣嶋先生(山梨大学)  
→総会終了後、総務理事：内藤先生より、打診・申込をする。

・開催場所の検討→関西と関東の交互が通例であるが、熱海の会場も慣れており、参加者は毎年違う（新人が対象のため、同じ熱海でもよいとの意見もあり→来年度の校長の判断による。

## 2-8 2006年学会賞選考委員会の報告

(2006年学会賞受賞者)

|            |         |                        |
|------------|---------|------------------------|
| 功績賞        | 福田 敦夫氏  | 東京電機大学工学部 環境物質化学科      |
| 業績賞        | 渡辺 順次氏  | 東京工業大学理工学研究科有機・高分子物質専攻 |
|            | 竹内 安正氏  | 株式会社国際基盤材料研究所          |
| 論文A (b)    | 蟹江 澄志氏  | 東北大学多元物質科学研究所          |
|            | 村松 淳司氏  | 東北大学多元物質科学研究所          |
| 論文賞A (c)   | 氷治 直樹 氏 | 富士ゼロックス株式会社            |
|            | 柿沼 武夫 氏 | 富士ゼロックス株式会社            |
|            | 荒木 雅昭 氏 | 富士ゼロックス株式会社            |
|            | 曳地 丈人 氏 | 富士ゼロックス株式会社            |
|            | 小林 英夫 氏 | 富士ゼロックス株式会社            |
|            | 山本 滋 氏  | 富士ゼロックス株式会社            |
| 論文B<br>奨励賞 | 石川 謙 氏  | 東京工業大学理工学研究科有機・高分子物質専攻 |
|            | 塩田 達俊 氏 | 東京農工大学工学部電気電子工学科       |
|            | 溝下 倫大 氏 | (株)豊田中央研究所フロンティア研究部門   |
| 著作賞        | 該当なし    |                        |

(表彰規定の見直し)

- ・同一種類の賞に5年以内再受賞してはならない →論文賞のAとBの解釈は？  
→共著者の場合は？

- ・分野の配列をフォーラムに合わせる。

※規定の見直しは、第5回理事会(11月)で検討する

(今後の課題)

- ・推薦候補の論文・研究が少ない→推薦委員の増加が必要か？

例) 編集委員、フォーラム委員経験者全員

■次回理事会：2006年9月15日(金) 12:00~13:00 秋田大学(液晶討論会と併設)

<配布資料>

資料 2006-07-1：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(総務委員会)

資料 2006-07-2：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(財務委員会)

資料 2006-07-3：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(編集委員会)

資料 2006-07-4：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(情報委員会)

資料 2006-07-5：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(行事委員会)

資料 2006-07-6：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(会員委員会)

資料 2006-07-7：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(研究委員会)

以上